

第 50 回 知的財産管理技能検定
3 級 実技試験
管理業務

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2024年9月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

1 電機メーカーX社の技術者が、特許出願の対象となる発明に関して発言1～2をしている。

発言1 「特許を受けることができる発明は、産業上利用できる発明である必要があります。ここでいう産業には、製造業以外に鉱業、農業、漁業等は含まれますが、輸送業や通信業のようなサービス業は含まれません。」

発言2 「特許出願前に米国内で販売が開始された製品の外観に関する発明から、その発明の属する技術分野における通常の知識を有する人が容易に発明することができた発明は、特許出願前にわが国の国内においてその製品が販売されていない場合であっても、特許を受けることはできません。」

以上を前提として、問1～問4に答えなさい。

問1

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を選びなさい。

問2

【理由群Ⅰ】の中から、問1において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅰ】

ア 技術的思想の創作という発明の定義からサービス業は産業に含まれないため

イ 技術的思想の創作という発明の定義から農業、漁業は産業に含まれないため

ウ 産業は広い意味で解され、サービス業も産業に含まれるため

問3

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を選びなさい。

問4

【理由群Ⅱ】の中から、問3において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 米国内で販売が開始されていても，日本国内で販売がされていない製品に関する発明に基づいて，進歩性が否定されることはないため
- イ 米国内で販売が開始された製品に関する発明に基づいて，進歩性が否定されるため
- ウ 米国内で販売が開始された製品に関する発明に基づいて，進歩性が否定されることはないため

- 2** 大学の建築学部に通う大学生甲は、世界の家屋に関する複数の建築家による論文集Aについて、先輩に発言1～2をしている。

発言1 「論文集Aに掲載されている5つの論文のうち、英語で書かれた5番目の論文はとても勉強になる内容です。友人に紹介したいので、5番目の論文を日本語に翻訳して自分のブログに掲載して公表しようと思います。」

発言2 「私も世界の家屋に関する論文を執筆する予定です。論文集Aに掲載されている5つの論文のうち、3番目の論文には写真Bが掲載されていました。私の主張の補強材料として写真Bをそのまま引用して私の論文に掲載しようと思います。」

以上を前提として、問5～問8に答えなさい。

問5

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問6

【理由群Ⅲ】の中から、問5において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア 著作権の侵害となる可能性が高いため
- イ 著作権が制限される場合として、著作権侵害となる可能性が低いため
- ウ 著作者人格権の侵害となる可能性が高いため

問7

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問8

【理由群Ⅳ】の中から、問7において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅳ】

- ア 著作権の侵害となる可能性が高いため
- イ 著作権が制限される場合として，著作権侵害となる可能性が低いため
- ウ 著作者人格権の侵害となる可能性が高いため

3 問9～問26に答えなさい。

問9

家電メーカーX社は、商品名「フレッシュコンフォートDP」を付した家庭用電気ポットの販売を開始した。一方、家電メーカーY社は、登録商標「フレッシュコンフォートDP」、指定商品「家庭用電熱用品類」とする商標権Mを有している。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア X社とY社との交渉の結果、Y社はX社に、商標権Mの全範囲について、通常使用権の許諾をしたが、通常使用権の登録がされなければ、X社には商標権Mに係る通常使用権の効力が生じない。
- イ Y社が日本国内で3年間継続して商標権Mに係る登録商標を使用していない場合、X社はその商標登録を取り消すことができる可能性がある。
- ウ X社はY社の登録商標と偶然同じ標章を使用していたものであり、何らY社のビジネスを阻害する意図はなかった。したがって、X社が商品名「フレッシュコンフォートDP」を付した家庭用電気ポットの販売を開始してから5年以内にY社からの警告を受けなければ、X社はその後も当該家庭用電気ポットの販売を継続することができる。

問10

自動車メーカーX社は、エンジンに関する特許出願を行っていたが、特許庁からの拒絶理由通知に応答したにもかかわらず、拒絶査定となった。ア～ウを比較して、X社のとり得る措置として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 拒絶査定に不服があるとして、特許庁に対し、拒絶査定不服審判を請求する。
- イ 拒絶査定に不服があるとして、東京高等裁判所に拒絶査定の取消しを求める訴えを提起する。
- ウ 拒絶査定に不服があるとして、拒絶査定不服審判の請求を行わず、手続補正書及び意見書を提出する。

問 1 1

文房具メーカーX社は、新規なボールペンAを開発して実用新案登録出願をした。ボールペンAは、ペン先の形状に特徴があり、これまでにない新しいデザインなので意匠権として保護すべきではないかとの意見があり、X社の知的財産部で検討を行うことになった。ア～ウを比較して、知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「物品のデザインについては、不正競争防止法により保護を受けることができます。不正競争防止法により保護を受けるためには、意匠登録出願をしていることは要件となりません。」
- イ 「実用新案登録出願は早期に登録がされますので、実用新案登録がされるのを待ってから、ボールペンAのペン先の形状について別途意匠登録出願をすべきです。」
- ウ 「ペン先の形状に特徴があるので、ボールペンAの全体の形状の他にペン先の部分について部分意匠として意匠登録出願をしたほうがよいと思います。」

問 1 2

医薬品メーカーX社において、知的財産部の部員が知的財産に関する条約について発言している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「特許協力条約（PCT）に係る国際出願を行った場合、国際事務局によって、自動的に国際調査が行われます。」
- イ 「特許による保護を求めようとする場合には、保護を求める国毎に特許出願を行い、特許を受けることが必要ですが、パリ条約上の優先権を主張して特許出願する場合には、先の特許出願が特許されれば各国においても自動的に特許されたものとして取り扱われます。」
- ウ 「特許協力条約（PCT）に係る国際出願に基づいて、わが国にパリ条約上の優先権を主張した特許出願をすることができます。」

問 1 3

画家甲と美術大学生乙は共同で絵画Aを作成し、展覧会で絵画Aを発表した。ア～ウを比較して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 甲が死亡し、甲には相続人がいない場合、甲が有する著作者人格権は、自動的に乙に移転される。
- イ 甲が有する著作権の持分を丙に譲渡しようとする場合、甲は乙の同意を得なければ丙に譲渡することができない。
- ウ 丁は、甲及び乙に無断で絵画Aの複製画を販売している。甲は単独で丁に差止請求することができる。

問 1 4

ドローンメーカーの技術者甲は、新規な形状のプロペラを備えた産業用のドローンAを発明した。ア～ウを比較して、甲の行動として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許出願に先立ち、ドローンAの動作確認を行いたかったが、自社に適切なスペースがなかったため、十分なスペースのある公共の運動場において、運動場の管理者の許可を得た上で、ドローンAの動作確認を行った。
- イ 特許出願に先立ち、開発のための投資を行うべきかを会社に判断させるため、社内会議においてドローンAを詳細に説明し、社内の各部門の意見を聞いた。
- ウ 特許出願に先立ち、世間の反応を確かめるために、自社のウェブサイトにもドローンAの特徴を公開して一般からの意見募集を行った。

問 1 5

寝具メーカーX社は、マークMに係る商標Aについて指定商品Bとする商標権を取得した。ア～ウを比較して、当該商標権について権原を有しないY社の使用に関して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア Y社は、商標Aを、指定商品Bと商品の区分が異なる商品Cについて使用しても、X社の商標権の侵害となる場合はない。
- イ Y社は、商標Aを、指定商品Bと類似する役務Dについて使用すると、X社の商標権の侵害となる。
- ウ Y社は、商標Aを、指定商品Bと類似する商品Eについて使用すると、X社の商標権の侵害となる。

問 1 6

バンドAの甲と乙は2000年5月10日に解散コンサートを行い、甲は2015年10月20日に亡くなり、乙は2023年3月1日に亡くなった。ア～ウを比較して、甲と乙が有する当該コンサートの実演に係る著作隣接権の存続期間が満了する年月日として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 2093年12月31日
- イ 2085年12月31日
- ウ 2070年12月31日

問 17

ア～ウを比較して、種苗会社X社の知的財産部の部員の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「試験目的の利用であれば、育成者権者の許諾がなくても登録品種を利用できます。」
- イ 「育成者権の存続期間は、品種登録の日から始まり、存続期間の延長をすることはできません。」
- ウ 「登録品種の育成方法についての特許権を有する者であっても、当該特許に係る方法によりX社の登録品種の種苗を生産することはできません。」

問 18

生活用品メーカーX社は、新しい電動歯ブラシAを開発したところ、その形状は、Y社が販売するボールペン及びシャープペンシルと似た形状であることが判明し、Y社が意匠権Dを有していることもわかった。ア～ウを比較して、X社の技術者から相談を受けたX社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。なお、「電動歯ブラシ」と、「ボールペン」及び「シャープペンシル」とは非類似物品である。

- ア 「Y社の意匠権Dを調べましたが物品をボールペンとしたものでした。電動歯ブラシAとは、物品が非類似であり、意匠権Dの効力は及びません。」
- イ 「Y社のウェブサイトを確認したところ、軸の部分の形状が、電動歯ブラシAと同一のシャープペンシルについての意匠登録出願Bが掲載されていました。意匠登録出願Bが意匠登録された場合、軸の部分のデザインを変更したほうがよいですね。」
- ウ 「Y社の意匠権Dを調べましたが物品をボールペンとしたものでした。物品が非類似であっても、形状が全く同じ場合には混同が生じる場合があり、電動歯ブラシAに意匠権Dの効力が及ぶおそれがあるので、少しデザインを変更したほうがよいですね。」

問 19

彫刻家甲は、想像上の生き物を表した彫刻Aを作成した。彫刻Aを見たカフェの経営者乙はこれが大変気に入ったため、甲から彫刻Aを購入した。ア～ウを比較して、問題が発生する可能性が高いものとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 甲から購入した価格よりも低い価格で、乙が客に彫刻Aを売ること
- イ カフェの入り口に彫刻Aを展示すること
- ウ 彫刻Aのレプリカをカフェにおいて販売すること

問 2 0

医療機器メーカーX社が特許出願をしたところ、審査官甲から拒絶理由が通知された。ア～ウを比較して、X社がとり得る措置として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 拒絶理由に対する反論を主張した意見書や、その反論の内容を立証するための実験成績証明書を提出する。
- イ 特許請求の範囲に、明細書にのみ記載されていた事項を追加記載するために、手続補正書を提出する。
- ウ 審査官甲とは異なる審査官乙による再審査を求める再審査請求書を提出する。

問 2 1

化粧品メーカーX社の知的財産部の部員が、新商品に表示する商標について商標登録出願を検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 新商品のパッケージに、図形からなる独創的なロゴマークAを表示することに決定した。ロゴマークAについては著作権法で保護されるので、商標登録出願をしても登録されない。
- イ 外国の有名な化粧品メーカーY社が販売している口紅の著名なブランドBの語感、新商品のイメージと合っている。Y社はブランドBについて日本に商標登録出願をしていないが、X社が、ブランドBについて新商品を指定商品とする商標登録出願をしても、Y社の日本国内への参入を阻止する目的の出願に該当するとして登録されない場合がある。
- ウ X社は、新商品の販売を開始した後でなければ、商標登録出願をしても登録されない。

問 2 2

ア～ウを比較して、意匠として登録される可能性が高いものとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア デスクトップの壁紙画像
- イ 神棚
- ウ 自然石

問 2 3

小説家甲が書いた小説Aが、出版社X社から発行されることになった。ア～ウを比較して、問題が発生する可能性が低いものとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。なお、小説Aの著作権は甲が有するものとする。

- ア X社が、小説Aについて第一発行年月日の登録の申請をすること
- イ X社が、小説Aの著作者名の表示を決めること
- ウ 小説Aの編集担当者が、小説Aの誤字を訂正すること

問 2 4

自動車メーカーX社は、Y社に対して人工知能を利用した自動制御技術に関する特許権Pに係るライセンスをすることを考えている。X社の知的財産部の部員甲と部員乙が会話をしている。ア～ウを比較して、ライセンス契約の内容に関して、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 甲 「わが社も特許製品を販売するので、Y社との価格差ができて競争力を失うことがないように、Y社の販売価格はわが社の販売価格より高額とする旨を、契約に盛り込むことはできますか。」
乙 「研究開発費を投じた特許権者が市場で優位に立つことは当然であり、販売価格の制限は特許権の権利行使に該当し、独占禁止法に抵触しませんので、契約に盛り込むことはできます。」
- イ 甲 「わが社は、来年の7月には特許製品の販売を終了する予定ですから、Y社に対して、特許技術を利用できる期間を来年の8月以降と限定することはできますか。」
乙 「期間を限定した許諾は、特許権の権利行使に該当しませんが、独占禁止法に抵触するので、利用期間を限定することはできません。」
- ウ 甲 「Y社が特許権Pに係る特許発明を改良し、特許権Qを取得した場合、特許権Qについて、わが社に専用実施権を設定させる旨を、契約に盛り込むことはできますか。」
乙 「Y社からわが社に特許権Qについて、独占的なライセンスを設定させることは、市場におけるライセンサーの地位を強化することに該当し、独占禁止法に抵触することから、わが社に専用実施権を設定させる旨を、契約に盛り込むことはできません。」

問 2 5

日用品メーカーX社は、社外の技術者甲に依頼して開発してもらったサンダルに関する発明についての特許出願を検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア X社が特許出願をするためには、X社と甲との間で、特許を受ける権利をX社に譲渡する旨の契約が発明完成前に予め締結されていることが必要である。
- イ X社が甲に開発費を支払って開発した発明であっても、この発明の発明者は甲になる。
- ウ 甲には、サンダルに関する発明の完成と同時に特許を受ける権利が発生し、甲は、この権利を他人に譲渡することができる場合がある。

問 2 6

自動車メーカーX社において、知的財産部の部員が、特許協力条約（PCT）に係る国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「国際出願について国際調査報告を受領した場合には、請求の範囲について補正をすることができません。」
- イ 「国際出願をした後、国際予備審査を望む場合には、国際予備審査機関に対して国際予備審査請求を行う必要があります。」
- ウ 「国際出願をした後、指定国において権利化を望む場合には、所定の期間内に指定国毎に国内移行手続を行う必要があります。」

4 問27に答えなさい。

問27

大企業である化学品メーカーX社は、自社の発明について特許出願（請求項の数は12）をしたところ、出願内容について補正することなく特許査定が送達された。この場合、設定登録を受けるために納付すべき3年分の特許料は何円か、記入例に従って算用数字で記入しなさい。

記入例 50000円の場合は、左詰めで「50000」と記入

特許法第107条及び特許法施行令第8条の2

各年の区分	金額
第1年から第3年まで	毎年4,300円に一請求項につき300円を加えた額
第4年から第6年まで	毎年10,300円に一請求項につき800円を加えた額
第7年から第9年まで	毎年24,800円に一請求項につき1,900円を加えた額
第10年から第25年まで	毎年59,400円に一請求項につき4,600円を加えた額

- 5 次の発言は、X社の知的財産部の部員が商標法に関して新入社員に説明しているものである。
問28～問30に答えなさい。

「商標とは、事業者が、自己（自社）の取り扱う商品・サービスを他人（他社）のものと区別するために使用するマークです。ここから、商標登録を受けるためには1が必要です。また、1があっても、他の登録要件、例えば、規定上『2又は善良の風俗を害するおそれがある商標』に該当しないことが必要です。また、一方で、商標法の目的は、商品やサービスに係るマークの登録を通じて、商品やサービスに蓄積された3を保護することにあります。」

【語群V】

- ア 信頼性
- イ 識別力
- ウ 流通秩序
- エ 判別力
- オ 公の秩序
- カ 業務上の信用
- キ 取引秩序
- ク 峻別力
- ケ 印象

問28

【語群V】の中から空欄1に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問29

【語群V】の中から空欄2に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問30

【語群V】の中から空欄3に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【3級実技】

番号 正解

問1 ×

問2 ウ

問3 ○

問4 イ

問5 ×

問6 ア

問7 ○

問8 イ

問9 イ

問10 ア

問11 イ

問12 ウ

問13 ア

問14 イ

問15 ア

問16 ウ

問17 ウ

問18 ア

問19 ウ

問20 ウ

問21 イ

問22 イ

問23 ウ

問24 ウ

問25 ア

問26 ア

問27 23700

問28 イ

問29 オ

問30 カ